

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	青少年指導員活動事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'01	1いのちを大切に作る心を持ち、社会性や規範意識を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	青少年	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 市民・自治会等】		
	目的・目標		事業の概要
青少年指導員と行政の日々の活動により、明日を担う青少年が心身ともに健やかに育成されています。		青少年健全育成を地域ぐるみで推進するため、地域の人材を青少年指導員に委嘱し、地域行事への協力や青少年への指導等を推進するとともに、研修会等を実施することにより指導員活動を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	理事会・総会開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	7	6	7	6	
	実績	7	6	7		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	青少年指導員の活動率			単位	%
	説明・算定式	(実際にイベント等で活動した期間(月を上中下旬に3区分した期間)の数÷(12か月×3期間×28地区))×100				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	75	75	75	75	
	実績	74.3	79.7	77.9		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
理事会5回、総会2回、研修会を2回開催しました。その他各地区で青少年健全育成のための行事等を開催し、青少年健全育成の取組を地域ぐるみで推進しました。						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	県を中心に各市に同様の制度があり、市が関与することで連絡体制も円滑化されていますので、今後も事業を継続して行う必要があります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	青少年指導員の活動は、次世代育成や環境浄化に非常に効果があり、子ども大会や成人式等の青少年育成事業の運営にも欠かせない存在となっていることから、有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	本市の青少年指導員の人数は、他の自治体に比べるとやや多くなっていますが、地区毎に行う事業の規模や、役員にかかる負担を考慮すると、事業内容は妥当であると思われます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	青少年指導員の活動は基本的にボランティアであり、地域に居住する大人の中から選出されているため、地域内の事情にも通じ、少ない予算の中で地域の青少年育成に貢献していることから、妥当性は高いと思われます。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 青少年指導員のなり手不足への対応や各地区の活動を考慮した青少年指導員の数の見直し等について、青少年指導員連絡協議会等の意見を聞きながら、検討していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		研修会等の実施	研修会等の実施	研修会等の実施	研修会等の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	299	263	267	350
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	4,669	4,767	4,383	4,564
事業費 (A)		4,968	5,030	4,650	4,914
執行率 (%)		99.22	97.69	97.79	
内訳	職員 (人)	0.62	0.50	0.40	0.53
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		5,025	4,008	3,180	4,141
フルコスト (A+B)		9,993	9,038	7,830	9,055

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 各地区代表で構成される理事会での意見交換を活性化させる等、地区活動が円滑に進むよう取り組みます。
課長コメント 「地域の子どもは地域で育てる」という考えに基づき、青少年指導員の活動が重要な役割を果たしています。今後は、地域の他団体との連携をさらに深め、地域全体で子どもたちを見守り、育てていく環境の醸成を図っていきます。